

全校朝会講話 「本当に『無理』？」

全校のみなさん、おはようございます。 今日も放送です。

少しずつ涼しい日が増え、秋の気配を感じられるようになってきました。今週あたりからは、運動会に向けての練習も本格的になってくるのではないのでしょうか。がんばってくださいね。

さて、みなさんは、学校やおうちでの毎日の生活の中で、「無理」とか「できない」という言葉を簡単に使ってしまうことはありませんか？

私は、「いやあ、これは無理だなあ。」なんて言ってしまうことがたまにあります。

そんなとき、私は、島秀雄さんという人の言葉・考え方を思い出そうにしています。

島秀雄という名前を聞いたことがある人はいないかもしれませんね。

でも、新幹線なら知らない人はいませんよね？ 島さんは、日本で初めて新幹線をつくる時に大活躍した技術者です。今から60年ほど前に計画が立ち上がった新幹線は「夢の超特急」と言われました。ただ、当時は、「それは無理だろう、できないのではないか。」と考えた人も多くいたそうです。でも、彼はそれを成し遂げました。前回の東京オリンピックの年、その開幕に合わせるように新幹線も開通しました。当時の世界最高スピードを記録し、安全性も高く、世界中の国々に大きな影響を与えました。島さんは、無理だろうと思われたことを実現したのです。

その島さんが残した言葉は、

「『できない』と言うより、『できる』と言う方が易しい。」

というものです。つまり、『できる』という方が簡単で、『できない』と言うことは、実はとても難しいことだということです。

島さんの考え方はこうです。

「『できない』と言うためには、何千何万とたくさんある方法の全てが無理、できないということを証明しなくてはならない。でも、『できる』と言うためには、たった一つだけできる方法を見付ければよい。」 というものです。

私は、自分が「無理かなあ」と弱気になったとき、この言葉・考え方を思い出し、勇気を奮い立たせるようにしています。

みなさんも、ぜひ「無理」「できない」と簡単に口にせず、あきらめない心を持ち続けてください。少し難しいことでも、苦しいなと感じることでも、本当に「無理」なのか、どうやっても「できない」ものなのか、もう一度考えてみてください。「やればできる」ということ、意外とたくさんあるかもしれませんよ。

これで、お話を終わります。